

平成 25 年度第 1 回福岡市立学校環境衛生懇話会 議事要旨

[日時・場所] 平成 25 年 5 月 16 日(木)19:00～20:30 市役所本庁舎 1505 会議室

[出席委員] 須貝委員(福岡大学教授), 元兼委員(九州大学大学院教授),
元山委員(医師会理事), 東委員(薬剤師会理事),
日高委員(PTA 協議会会長), 屋宜委員(小学校長会役員),
梅田委員(中学校校長会役員), 森委員(教育環境部長),
桑田委員(教育支援部長), 橋爪委員(指導部長)
(事務局) 大塚, 平田, 徳永

[次 第 等]

- 1 教育委員会挨拶 事務局挨拶
- 2 委員紹介 委員の自己紹介
- 3 議事等要旨

(1) 資料説明 事務局より資料内容を説明

(2) 議事要旨(●は事務局)

- 西日が当たると 6 時間後に大幅に温度が上がる。西面と逆の面とを比べてみると良い。
- 温度、壁面の温度、湿度、不快指数(WBGT)も計ってみたい。
- サーモカメラも有効。手足が高温になっていることが考えられる。
- 今年の温度調査の結果では、前日夕方の気温が高いと翌日朝の気温も高くなるようだ。
- コンクリートはかなり蓄熱する。排熱をうまくやっていたらよいのでは。
- 教室を閉め切った後の西日が当たる教室の調査をぜひやってみたい。
- エアコンの設定温度を下げても、壁面が熱せられると空気が冷えない。断熱が重要。
- 冬場の換気はどれくらいの頻度で行っているのか?
- 休み時間毎に行うように指導しているが、十分には行われていない。
- PM2.5 等換気が行いにくい状況ではあるが?
- 学校の窓は機密性が高くないため、窓の開閉は PM2.5 には影響しないのでは。
- 緑のカーテンは、予算もかからず、教育面でも良い。やる価値はあるのでは。
- 設置上の問題と水やり等管理の問題がある。以前屋上から張ったロープを利用できる。
- シックハウス対策で小さい換気扇をつけている教室がある。2 時間で空気が入れ替わる。
- 同じ学校内で、換気の有無、西日が当たるか否か等比較できるような状況をつくりたい。
- 最上階が換気されると、下の階にも影響してくる。最上階で換気の有る教室と無い教室で比較すると面白いのではないか。
- 2 時間に 1 回の換気では住宅と同レベルであるためもっと頻度を高める必要がある。
- 温度調査をやる上でのサンプルの選び方について、アドバイスをいただきたい。
- オープン化については、既存の教室でデータをとってほしい。
- オープン化は暑熱に効果的でも、授業の成り立ち等も考察すると、選択すべきではないとの結論も考えられる。
- 太陽光パネルについては、既設置校で、天井の面の温度を測ってみたい。
- サーモカメラで計ってみるのも良い。グラウンドが芝生だと温度が低い。
- 百道浜小学校のグラウンドが芝生であり、昨年度の調査の結果はあまり大きな変化はなかったが、今年も再度調査を行いたい。
- 冷房設置の要望は大きいのか。

- 最近増えている。それとは逆に根性論もある。冷房設置については、維持管理のコストや清掃等のメンテナンスの問題もある。
- エアコン設置以外の方法を考えたほうが良いのでは。
- 温度調査については、階数、方角、時間帯、場所等変数が多く、調査の意図が分かりにくい。
- 何らかの施策を全校一斉にやるのは難しいので優先順位をつける際のデータにしたい。
- 似通った教室で条件を変えて調査をして、比較データをとれると良い。
- 目的を絞って、換気、西日、最上階、の中でどれが影響が大きいのか特定できれば対策もしぼられるのではないかな。
- 断熱材、屋上散水は効果があるのではないかな。輻射熱も影響が大きいと思う。ドライミストは効果が薄い印象。そのような感覚的なところを客観的に示せるとよい。
- 一番暑い日にサーモカメラでとってみたい。一つの校舎で屋上散水しているところとしていないところを比較できるとよい。